

# 国鉄労働者は いまこそ人間らしく生きなければならぬ



86. 11. 13

No. 2405

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

## 仲間を信じ、裏切り者を許さず闘い抜こう。(3)

「成績をあげる」ための組織介入

また、最近、新小岩支部で何人かが組織分裂策動を開始したことを、われわれは、怒りをこめて糾弾しなければならぬ。

本質的には、日常的な「鼻ツマミ者」や、「友達のない者」が、職制の自己保身のための甘言につられて動き出したということであるが、われわれは、これを決して軽視してはならない。

新小岩機関区の職制は今年春の人事異動で新小岩機関区へ配属が確定して以降、

「新小岩では貨物会社へやられてしまう」

「部長や課長に裏切られた(見捨てられた)」

「貨車区と統合(六一・一一)されたら職制が半分になるから、その時まで成績をあげて、何とか局か電車区にまわしてもらおう」と公言していたのである。

「成績をあげる」とは、すなわち、動労千葉に対する組織攻撃である。

自己保身のために労働者の不安を利用する職制・裏切り者

とりわけ、「功労賞」などをもらうことは「成績をあげた」証明となるため、その「推せん」を受けるため、

「九月二二日に、『本部』革マル五名で『バイオニア会』を発足させた」

「十月一日に、十六名で『拓進会』を発足させた」

などということを「職場規律の確立」の具体的成果として売り込んでいるのである。

新小岩における一連の事態の根っ子に、新小岩機関区職制のこのウス汚い自己保身があることを、われわれは決して見逃さない。

「分割・民営化」「十万人首切り」がある以上どうしようもない国鉄労働者の生活不安を、自己保身のために利用する者は、職制であるが、どこの組合員であるが、決して許されない。仲間が自殺に追い込まれる時に、その足を引っぱる殺人者である。

国鉄労働者が三十万人いるのに、二十万人分の席しか用意しないで殺人的「イス取りゲーム」をやらせる中曽根・杉浦・松崎の犯罪的行為に加担する者が、いかなる理由があろうと、国鉄労働者から「どちらが生き残るのか」をかけて糾弾されることは当然である。

裏切り者に未来はない

国鉄労働者十万人の生活基盤を奪い取り、死を強制する者に対して、  
国鉄労働者は、生きる権利があることを高く掲げて団結しなければならぬ。  
来年の四月一日に、

「旅客会社」へ行こうが、

「貨物会社」へ行こうが、

「四万一千人」となるうが、  
仲間を裏切った者は、一生、その責を負って生きなければならぬ。

労働者は、仲間を裏切って「救われる」ことは決してありえないのだ。

国鉄労働者は、いまこそ生きなければならぬ。  
一人の首切りも許してはならない。

動労千葉は、全国鉄労働者の決起を呼びかける。「分割・民営化阻止、十万人首切り粉碎」へ向け、最後まで団結し、闘い抜こう。

雇用確保は正社員の特権... 退職者は組合員に

列羽西山町の大手電機... 退職者は組合員に

「そのあ、向うの国鉄... 退職者は組合員に

### 退職

退職者は組合員に... 退職者は組合員に

新 潟 日 報 10月26日 (日曜日)

## 広域異動は 片道切符

組合と当局に裏切られた...

退職者は組合員に...